

プログラム

一般講演(理系複合棟102教室)【午前の部 9:00～12:00】

- O1. 9:00～9:15 オオナキオカヤドカリの初期生活史 ○神野正樹¹・河野裕美¹・水谷 晃¹・丹尾
岳斗²・小菅丈治³ 1.東海大沖縄地域研, 2. 石川県立中学校, 3. アジア熱帯養殖研
- O2. 9:15～9:30 数値シミュレーションを用いた網取湾の海水流動の再現計算と生態学への応
用 ～ 放出されたオオナキオカヤドカリ幼生の動態解析を例に ～ ○村上智一¹・河野裕美
²・水谷 晃²・神野正樹²・下川信也¹ 1. 防災科研, 2. 東海大・沖縄
- O3. 9:30～9:45 クロイワトカゲモドキの齢査定における骨年輪法の有効性の検討 ○栗田隆気
(琉大院・理工), 戸田守(琉大・熱生研)
- O4. 9:45～10:00 ミナミヤモリにおける体サイズの地理的変異とその一要因としての繁殖特性
の集団間比較 ○添田晴日(琉大院・理工・海洋自然)・竹中踐(東海大・生物)・戸田守(琉
大・熱生研)
- O5. 10:00～10:15 生き物を調べることから見えてくるもの ～自然しらべのご紹介～ ○安部
真理子日本自然保護協会
- <休憩> 10:15～10:30**
- O6. 10:30～10:45 日本初記録のPseudobiceros Faubel, 1984(扁形動物門: 多岐腸目: ニセツノ
ヒラムシ科)の2種 ○ 奥野淳兒(千葉県立中央博物館分館海の博物館)・亀川奏子(行崎模
型)

07. 10:45～11:00 外来種マングース根絶のためのセンサーカメラによる残存数推定とワナ改良による在来種混獲防止 ○山田文雄¹・佐々木茂樹²・城ヶ原貴通³・北浦賢次⁴・橋本琢磨⁴・阿部慎太郎⁵¹ 森林総研² 横浜国大³ 岡山理科大⁴ 自然環境研⁵ 環境省那覇
08. 11:00～11:15 沖縄島周辺海域における簡易遊泳法で記録した海棲爬虫類(ウミガメ類、ウミヘビ類) ○長田智史¹、増永元²、笹井隆秀³、山川英治¹、當間明子¹、小澤宏之¹、小笠原敬¹、長井隆¹¹ 一般財団法人沖縄県環境科学センター、²宜野湾市在住、³琉球大学
09. 11:15～11:30 沖縄島における外来魚ソードテールの分布拡大と駆除活動 ○嶋津 信彦
010. 11:30～11:45 アザミサンゴ *Galaxea fascicularis* 色彩型の蛍光色素含有量とストレス耐性について ○仲栄真礁・日高道雄 琉球大学理工学研究科
011. 11:45～12:00 琉球列島固有種マルバハタケムシロ(キキョウ科)はオーストラリア固有種と隔離分布をするか ○國府方吾郎^{1*}、中村剛²、Paul I. Forster³、平山裕美子¹、横田昌嗣⁴¹ (科博・植物、²台湾中央研究院、³QLD Herbarium、⁴琉大・理・海洋自然)

休憩(昼食)【12:00～13:00】

沖縄生物学会総会(理系複合棟102教室)【13:00～14:00】

*** 池原賞受賞者講演(理系複合棟102教室)【14:00～14:30】**

ポスター講演<小学生他>(理系複合棟一階玄関ホール)

【14:30～14:45】

SP1. ケラマジカの角のときあと調べ 吉村優悟・大村勤子(座間味村立阿嘉小学校)、遠藤晃
(南九州大学)

SP2. ケラマジカの足について 中村和寛(船越小)、大村加奈子・渡口怜(慶留間小)、中村出(沢
岷小)、遠藤晃(南九州大学)

ポスター講演<一般>(理系複合棟一階玄関ホール)【14:45～15:45】

P1. インターネット会議システムの活用したシカ研究に関する小学生同士の研究発表 ○遠藤
晃(南九州大学/人間発達学部)、中村出(沢岷小学校)、大村勤子(阿嘉小学校) 竹下龍祐・満
行浩・岡村夫佐(御池小学校)

P2. 沖縄島産ナガミボチョウジ(アカネ科)の雌雄同株性 ○渡邊謙太¹、横田昌嗣²、傳田哲郎²、
菅原敬³ (¹沖縄高専、²琉球大学、³首都大学)

P3. 新燃岳降灰を骨格内に封印したエンタクミドリイシ ○山城秀之(沖縄高専・生物資源工学
科)・深見裕伸(宮崎大・農・海洋生物環境)

P4. 454 GS Junior シーケンサーによる網羅的共生微生物相解析技術の開発 ○青山洋昭、砂
川春樹、齋藤星耕、長濱秀樹、新里尚也 琉球大学熱帯生物圏研究センター

P5. 454 GS Junior を用いた微生物群集構造解析における情報処理手順 ○齋藤星耕、青山洋

昭、砂川春樹、長濱秀樹、新里尚也 琉球大学熱帯生物圏研究センター

P6. 八重山諸島石垣島におけるドブガイモドキの成長 ○北野忠(東海大・教養)・唐真盛人(石垣市)・藤本治彦(八重山商工高)・伊藤寿茂(新江ノ島水族館)・水谷晃・崎原健・河野裕美(東海大・沖セ)

P7. Molecular cloning and expression of the dopamine receptor DRD2 in a tropical wrasse ○S. Bouchekioua¹, S.P. Hur², Y. Takeuchi², A. Takemura² ¹University of Pierre and Marie Curie and ²University of the Ryukyus

P8. 「飼い猫適正飼育条例」施行による奄美大島鳩浜地区のネコ密度と出没傾向の変化 ○塩野崎和美¹・山田文雄²・佐々木茂樹³・柴田昌三¹ (¹京大院地球環境・²森林総研³横浜国立大学)

P9. アマミトゲネズミの生息密度と行動範囲の推定 ○城ヶ原貴通¹・山田文雄²・越本知大³・木戸文香⁴・望月春佳¹・塩野崎和美⁵・黒岩麻里⁴ ¹岡山理科大²森林総研³宮崎大⁴北海道大院⁵京都大院

P10. ミフクラギ *Cerbera manghas* L.(キョウチクトウ科)の花形態と送粉機構 ○西田 佐知子・横田 昌嗣・傳田 哲郎 琉球大学理工学研究科

P11. 島網取遺跡とカトウラ貝塚の遺跡立地と貝類資源利用 ○永谷幸人¹・河野裕美²・北條芳隆³ 東海大学 ¹大学院, ²沖縄地域研, ³文学部歴史 西表

- P12. フイリマンゲースのDNAによる種判別技術、雌雄判別技術および個体識別法の開発 小倉剛¹、砂川勝徳¹、○渡久地花英手²、*井上泉²、小畑圭²、大沼学³、黒岩麻里⁴、福原亮史⁵ ¹ 琉球大 農学部、²琉球大院 農学研究科、³国立環境研究所、⁴北大院 理学研究院、⁵南西環境研究所
- P13. マンゲースにおける効果的な防除技術の開発 ○ 水川真希¹・小野清哉¹・嘉陽結子²・種村彰人²・小倉剛²・砂川勝徳² (¹琉球大院 農学研究科・²琉球大 農学部)
- P14. 子どもの自然科学研究助成事業「新報サイエンスクラブ」初年度の取り組み ○黒田 華 琉球新報
- P15. パリカメノコキクメイシ *Goniastrea aspera* 群体に見られるまだら模様に関する生理・生態的研究○寺本 真梨子・中村 崇 琉球大学理工学研究科
- P16. 沖縄の県魚グルクン(スズキ亜目タカサゴ科)の分子系統解析 ○昆 健志(東邦大・理), 岩槻幸雄(宮崎大・農)
- P17. 沖縄島におけるアオウミガメのストランディング個体の消化管内容物について ○梅本巴 菜 琉球大学ウミガメ研究会ちゅらがーみー
- P18. 西表島浦内川におけるツムギハゼの分布特性 ○関川宏美¹ 河野裕美² 水谷晃² 齋藤俊郎³ 東海大 1.院・海洋, 2.沖縄, 3.海洋

P19. 仲ノ神島におけるカツオドリ個体群の現状(1985~2011年) ○河野裕美・水谷 晃 東海
大学沖縄地域研究センター

P20. 西表島網取湾におけるオオナキオカヤドカリの幼生放出の時期と行動 河野裕美¹・水
谷 晃¹・神野正樹¹・丹尾岳斗²・小菅丈治³ 1. 東海大・沖縄, 2. 石川県立中学校, 3. アジア
熱帯養殖研

P21. 仲ノ神島におけるカツオドリの稀な2雛育雛とその成長 河野裕美¹・村越未来²・水谷
晃¹ 1. 東海大沖縄、2. 長崎ペンギン水族館

P22. イノシシの出没状況とその季節変化 —奄美大島名瀬鳩浜・名瀬佐大熊において— ○布
施 綾子¹・塩野崎 和美¹・小方 登¹・山田 文雄² (¹京大院地球環境・²森林総研)

P23. 長時間録音データの解析によるヤンバルクイナの生態調査への試み ○宇根健一郎¹
藏屋英介¹ 神里志穂子¹ 野口健太郎² 金城道男³ 長嶺隆³ 嘉手苺修⁴ ¹沖縄工業高
等専門学校 ²東京工業高等専門学校 ³NPO法人どうぶつたちの病院 ⁴株式会社 沖縄コ
カ・コーラボトリング

一般講演(理系複合棟102教室)【午後の部 15:45～16:45】

- O12. 15:45～16:00 琉球大学構内に生息するリュウキュウカジカガエル (*Buergeria japonica*) の食性調査 ○田場 美沙基(琉球大学大学院教育学研究科)、清澤昇太(沖縄県立南部商業高等学校)、富永篤(琉球大学教育学部)
- O13. 16:00～16:15 沖縄近海に棲息する海産無脊椎動物に付随または共生している微生物相のパイロシーケンス解析 ○砂川春樹、青山洋昭、齋藤星耕、長濱秀樹、新里尚也 琉球大学熱帯生物圏研究センター
- O14. 16:15～16:30 中学校選択理科の実践例Ⅲ ～ガエルの変態期の呼吸について～ ○飯田勇次(唐津市立北波多中学校)・田中 邦明(北海道教育大函館校)
- O15. 16:30～16:45 琉球列島・台湾産シマフジバカマ(キク科)の葉形態比較と分子系統解析に基づく分類学的考察 ○齊藤由紀子^{1*}、中村剛²、彭鏡毅²、横田昌嗣³、國府方吾郎¹ (¹科博・植物,²台湾中央研究院,³琉大・理・海洋自然)

